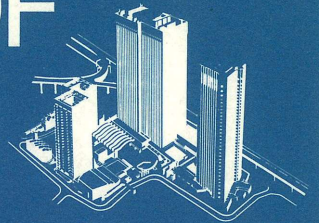


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH WEEKLY REPORT



東京新南ロータリークラブ週報 November 28, 1986 No. 7

今年度のターゲット (M.A.T.カバラスRI会長)

ロータリーは希望をもたらす
ROTARY BRINGS HOPE

○ 本日の予定

昭和61年11月28日 (第8回)

ガバナー公式訪問 (275 地区・市村茂人ガバナー)

10:30 ~ 12:30 クラブ協議会

12:30 ~ 13:30 例会

◎ クラブ奉仕活動について

発足早々の当クラブとしては物理的 (会員数がまだ25名で手が足りない) にも経済的 (諸活動に伴う予算がとれない) にも職業奉仕、社会奉仕及び国際奉仕活動を積極的に展開するのはまだ無理であり、当面会員増強と会員相互の親睦を中心とするクラブ奉仕活動を主として実施していくとの会長の御方針により、今度の第1回クラブ協議会イコール地区ガバナー公式訪問に於ける協議のテーマも、「発足間もない新クラブとしての親睦活動はどうあるべきか」となり、その考え方やら、具体的プログラムに関する意見やら提案やらを皆さんからいただきながら、より有意義なクラブ活動をさぐっていくことになりました。

クラブ生活経験の短い若輩の私見で御批判もあろうかと思いますが、生活の糧を得るためのワークもあれば時には義務感に追われ大げさに言えば歯をくいしばって艱難辛苦に耐えることもあるかも知れませんが、そうでない分野のロータリークラブのクラブライフであれば、その活動の目的と報酬は楽しく愉快で喜びでなければならず、そこにはいささかも義務感にしばられるとか苦痛や負担や犠牲を伴うものがあってはならないと考えます。ちょうど恋愛の如く (卑近な例で申し訳ありません) 相手の、皆の喜びのために活動して心から奉仕することが楽しく自分の喜びになったときが本物のクラブ奉仕が出来たときではないでしょうか。

(幹事：川鍋達朗 記)

昭和61年11月21日 (第7回)

司会 田辺 賢三 会長

♪ ロータリーソング：手にて手つないで リングリーダー：沖 宏之 君

卓話 ①「ロータリー財団月間・ロータリー財団について」
プログラム委員長 沖 宏之 君

②「日本に来てあれこれ」

ロータリー財団留学生 Missリンダ・ボーカー

来客紹介 国内/丸山 忠典 君 海外/田中 武君

出席状況	会員	25名中	出席	18名	欠席	7名
	来客	7名	(内都内)	5名	地方	1名
					海外	1名)
	ゲスト	1名	○	会員出席率	72%	

○ 来客名簿 (順不同・敬称略)

Guest Missリンダ・ボーカー (ロータリー財団留学生)

Vister Mr.R.MAURER Westfield N.J. U.S.A. RC / Drug, Executive

海老原 茂	東京 南 RC	海老原・橋本法律事務所	代表者
鈴木 喜七	〃	ニシキ産業(株)	代表取締役
吉野 良平	〃	日本プラフォーム(株)	代表取締役社長
森 武	淡路三原 RC	森 土 建 (株)	社長
下田容一郎	東京 芝 RC	下田特許事務所	所長
山川 政樹	下田氏ゲスト		

◎ ニコニコボックス

新南 RC

沖 宏之 Missリンダ・ボーカーが卓話に来て呉れましたので。
馬場 一廣 11/28 ガバナー公式訪問日、少々遅刻させていただきますのでお詫びの意味で。
吉田 用親 本日、誕生祝ということで。
保科 正 クラブ事務局にソファ・テーブルを寄贈させていただきました。
※素敵なソファ・テーブルです。(事務局)
村川 優 ゼネラルフォーラムを欠席して相済みませんでした。

合 計 5件 18,000円
有り難うございました。

<NOTE> 国際ロータリー発行、ロータリー入門より

1. クラブ協議会はどのようなものですか？

クラブ内においてロータリーのプログラムを調整・発展させるために開かれる、役員、理事及び委員会委員長の会合です。

2. クラブ・フォーラムとは何ですか？

奉仕活動について会員に情報を伝えるために開かれる、全会員の出席する公式会合

東京新南ロータリークラブのスケジュール

① 東京南ロータリークラブ懇親ゴルフ会

日時 12月10日(水) 9:30 A.M.～/場所 程ヶ谷カントリークラブ

競技 18ホールズストロークプレー 終了後パーティあり

会費 5000円

〆切 12月1日(月) ○ お申し込みは事務局まで

現在出席予定者/田辺会長、岩上、川鍋、斉藤、田中、山下君

② 家族忘年会

日時 12月26日(金) 17:00 ～ 18:00 P.M 夜間例会

18:00 ～ 20:00 P.M. 家族忘年会

場所 全日空ホテル「青雲の間」

会費 会員 20,000円 ご家族 12,000円

※ 例会では、会員奥様のご紹介を致しますので、時間厳守下さい。

◎ 以上ご予約下さい。

国際奉仕委員会からの報告

皆様にご協力をお願い致しておりました、来年2、3月来日の中国残留孤児に対する寄付金が、15,200円集まりました。この寄付金は、残留孤児の中国の養親に感謝を込めて贈呈する記念品代となります。

11月25日に、この件の提唱クラブであります、東京城西RCに全額をふりこみましたので、ご報告申し上げます。

卓 話 ①「ロータリー財団月間・ロータリー財団について」

プログラム委員長 沖 宏之 君

②「日本に来てあれこれ」

ロータリー財団留学生 Missリンダ・ポーカー

○ 沖プログラム委員長

(記/事務局)

今月は「ロータリー財団月間」ですので「ロータリー財団」についてお話し致します。

ロータリークラブには22～25の委員会があります。新南クラブはチャーターメンバー25名ですから、全委員会はございませんが、ロータリー財団はその一つの委員会でございます。財団は寄付によって集まった寄付金を財団の奨学金として、世界各国に留学生を選考して派遣するシステムです。

もともとロータリー財団を理解する為には、国際奉仕の概念の誕生から述べなければならぬと思います。1905年ロータリークラブが創立された当初は、会員の親睦と職業上の相互扶助が目的でしたが、間もなく一般的奉仕概念へ転化し、更に実業人、専門職業人を以って構成されるロータリークラブであるので職業道徳の効用となって参りました。そして職業奉仕にとどまらず、その実践活動を通して地域社会に対するものの社会奉仕、又他国に渡るものの国際奉仕として活動するようになりました。

1914年ロータリークラブが社会奉仕を始めた頃、世界第一次大戦が開戦されました。国際奉仕の概念は大戦中に誕生しております。イギリス・アイルランド等の諸クラブでは、ヨーロッパに於いて傷病兵の慰問、難民の救済を行なっておりました。1917年シカゴロータリークラブでは、抑留された人達を敵国の人達という考えではなく暖かく接し助け合う、これが国際奉仕である、そして人類愛に結ばれていくという考えを持ったようです。

アメリカのアトランタで開かれた国際大会で、国際ロータリー会長アーチ・シー・クランプ氏は「慈善的教育的あるいはその地位の社会奉仕活動によって世界の福祉に役立つ基金を創立したい」と提唱し、その場で受け入れられました。それがロータリー財団の始まりです。

ロータリー財団は、数々の業績を残して参りました。ロータリー財団の基金により、奨学生を世界各国へ送るという事業を是非皆様の力で実行して頂きたいと思っております。1年間に\$100 寄付を頂き、10年間で\$1000になると「ポール・ハリスフェロー」という荣誉が与えられます。寄付された奨学金の額により、地域より進んだ学生を奨学生として世界各国へ送って頂きたいと思っております。

奨学生は、自国と留学国2ヵ国の「親善使節」も兼ねた奨学生です。他に、このような奨学制度は、類を見ない良い制度です。

1年間\$100 寄付が、世界平和に役立つことを理解して頂き、奨学生を世界へ送って世界平和の一端を担って頂ければ、幸いです。これで終わらせていただきます。

○ Missリンダボーカー

皆さん、今日は。
留学の機会をどうもありがとうございました。4年前に観光客として日本へ来ました。2ヵ月仙台より広島へ旅行し、たくさんきれいな処を見たり親切な人に会いました。

そして今度、ロータリーの留学生として日本に来ました。アメリカと日本の違いについて、最初に気が付いたことは、道路は狭い、人間をはじめ車、自転車、食べものが多いこと、又あちこちにある漢字の看板が全然読めない。旅館の部屋に靴のまま入ってしまいました。大変な間違いね。

ICUの夏のプログラムでは、外国人が日本語を勉強しているので会話は英語です。アメリカの大学にいるようです。夏のプログラムが終って2週間ぐらい北海道の島牧でホームステイしました。海、山がありとてもきれいな処で、島牧の人はとても親切でした。英語は全然出来ません。すごく早くしゃべり方言が大変難しかったです。いつも「もう一度言って下さい」と言いました。そこで大切なことを習いました。親切な表情をすると言葉は入りません。

島牧のお父さんは漁師でした。毎朝ウニをとりました。お母さんはウニを二つに割り、私の手にのせました。ウニが動いたのでビックリしてウニを投げてしまいました。朝・昼・夕のご飯のとき、魚を食べました。魚は大好きですが、少しうんざりしました。北海道の生活は東京と比べるととても違い良い経験でした。

東京へ戻り、日本の文化を調べました。相撲の千代の富士のファンになりました。秋には東京場所を見に行きました。この時テレビで観るのと違い、相撲とりの大きいのにはびっくりしました。一体何を食べていますか？その他に「生け花」の勉強もしています。「日本料理」を習いたいです。毎日日本で面白い経験がありますからこの新しい生活は大変好きです。

面白い文化と歴史と日本人について、一生懸命勉強したいですが、一番大切なゴールは「読めない漢字の看板」を読みたいことです。
今日はどうも有り難うございました。

○ 次週の子定

昭和61年12月 5日 (第9回)

卓 話 「米山財団について」

国際奉仕委員長 齊藤 茂之君

親 睦 活 動			S . A . A .		
受 付	来 客 紹 介	会 計	日 付	ニコニコボックス	会 場
武下	佐藤 岩上	丸山 中野	11/28	青野 安藤	保科 青野
山下	吉田 飛鳥	武下 岩上	12/ 5	石坂 馬場	安藤 馬場
吉田	丸山 山下	飛鳥 佐藤	12/12	河原 入沢	石坂、入沢
中野 岩上	佐藤 飛鳥	宮本 丸山	12/19	田中 青野	河原、田中
丸山	山下 吉田	岩上 武下	12/26	安藤 石坂	以上全員で

会長：田辺賢三 副会長：村川優 幹事：川鍋達朗 会報編集者：斉藤茂之

東京新南ロータリークラブ

事務所々在地： 東京港区赤坂 2-22-19南部坂アネックス 201号

電 話： 505-5976 (ファクシミリは同番で切り替え)
